

令和5年度施政方針

鴻巣市



鴻巣市



鴻巣市



鴻巣市



鴻巣市

令和5年度のスタートにあたって



鴻巣市長
並木 正年

日頃より市政の推進にあたり、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、昨年8月に市長に就任して以来「市民と歩む新しい鴻巣」を基本姿勢として、長

引く新型コロナウイルス感染症の拡大、エネルギー及び食料品等の価格高騰などから市民生活・地域経済を守るため、通算4回目となる水道基本料金2か月分免除をはじめ、小・中学校給食費の3か月分免除、価格高騰の影響を受けている農業者や福祉施設等への支援など、様々な事業を行ってまいりました。

令和5年度は、次の3つの方針に基づき、新たなまちづくりに向けた事業を実施してまいります。

方針の1つ目「未来への投資で活力をつくる」では、「新卒保育士就職準備金貸付事業費補助金」を導入するほか、学力向上支援員や理科支援員を各小学校の実情に応じて配置します。また、本市を代表するイベントである「このす花火大会」及び「鴻巣びっくりひな祭り」が、それぞれ20回目を迎えることから、記念事業の実施を支援します。

方針の2つ目「地域・市・県・国を経験でつなぐ」では、様々な地域情報を発信するWEBサイト「このす広場」を実際のイベントとして開催するほか、「クラウドファンディング連動型地方創生プロジェクト補助金」を創設し、地域課題の解決等に取り組む市民や団体等の活動を支援します。また、「市長と語る地域懇談会事業」や事業所・団体等への訪問を実施するなど、市民の皆さんや事業者の皆さんとの意見交換等を通じて、地域課題や要望等の把握に努めます。

方針の3つ目「くらしの安全を全力でまもる」では、「高齢者あんしんみまもりサービス事業」を拡大するほか、聴力機能低下により日常生活に支障のある18歳以上の身体障害者手帳の交付対象とならない方に補聴器購入



費の助成を開始します。また、「このす乗合タクシー」では、車椅子で乗車可能な福祉車両やミニバンサイズのハイブリッド車を導入するとともに、子育て支援割の導入や予約件数の拡大によるサービス向上を図ります。「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業」では、企業版ふるさと納税マッチング支援業務委託を行い、企業とのパートナーシップの強化を図ります。

重点的な取組として、全事務事業にSDGsの理念を取り入れるとともに、ゼロカーボンシティの実現に向け「住宅用省エネルギー設備設置費補助金」や「省エネ家電製品買換え促進事業補助金」を交付するほか、A-ICRやRPAなどのデジタル技術の活用を拡大し、更なる業務改善と市民の利便性の向上を図ります。また、コウノトリをシンボルとしたまちづくりを目指し、このとりマルシェの開催、このとりブランドの更なるPRなど、市民・事業者とのパートナーシップにより推進します。

「花」と「緑」を生かした取組では「このす花まつり」の開催をはじめ、フラワロードの創出や街なかの花裝飾、花壇整備など、潤いと彩りあふれる花いっぱいまちづくりを推進します。

道の駅の整備では、施設設計やアクセス道路の工事及び用地取得を行うほか、産業団地の推進では、県企業局による造成工事が着手され、進出企業の選定が行われており、引き続き、県との緊密な連携を図ってまいります。また、埼玉中部環境保全組合において推進する新ごみ処理施設整備推進事業について、構成市町と連携して取り組んでまいります。

「小・中学校適正規模及び適正配置事業」では、令和6年3月をもって閉校となる常光小学校について、鴻巣中央小学校との統合に向けた統合準備委員会を設置します。

「三谷橋大間線（2期工事）整備事業」については、本年9月の完了を目指しております。「大間近隣公園整備事業」については6月3日（土）に開園する予定です。

私は、市民の皆さん、事業者の皆さんと対話を重ねることで、連携をさらに強固なものとし、一歩ずつ、ともに歩んでいく一年にしたいと考えております。

引き続き、市民の皆さんの誰もが活躍し、主役になることのできるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、格別のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。